

60・61  
第 合併号  
(NPO 第13号)

発行：2015年12月1日

【ПРИРОДА】プリローダ=ロシア語で「自然」という意味をあらわす

むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武蔵野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。



## 2016年、協会は設立20周年を迎えます！



1996年6月に当協会が設立してから、もうすぐ20年が経ちます。そこで2016年は記念年として、恒例の植林ボランティアツアーでは特別キャンペーンとして参加費の学割を実施します。ハバロフスクにおける宿泊先である太平洋国立大学や長年お世話になっているインツェリストホテルのご協力を頂き、普段、参加費の問題でためらっている学生さんたちに沢山応募していただきたいと思い、武蔵野市周辺の大学に広報を始めています。

また、2016年6月26日（日）には、武蔵境にあるスイングビルにて、設立20周年記念総会と記念行事を開催する予定です。

ハバロフスクからのビデオメッセージをご披露したり、20年の歩みを振り返り当協会の活動を広報し、またロシア民謡を歌ったりして祝賀会を開催したいと思います。皆さまには、ぜひご出席いただきたく、よろしく予定に入れておいて戴けると幸甚です。

### 特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会のこれまでの活動

- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 1993年 | 多摩地域の東京都移管100周年記念行事「TAMAらいふ21」で、100人の子ども達がハバロフスクで自然体験実施   |       |   |
| 1996年 | むさしの・多摩・ハバロフスク協会 設立 広報委員会発足 広報紙の準備を始める<br>第1回 冬季体験団実施（ハバロフスクで正月滞在。以後2007年まで実施）                        | 2009年 | いて協議・視察を実施<br>第二期植林として植林ボランティアツアー開始（新たにヘフィットール地区にて実施。「友好の森Ⅱ」とする。）   |
| 1997年 | 桜プロジェクト・森林調査団派遣 第1回 夏季訪問団実施（以後2002年まで実施）  | 2010年 | 環境ポスター展示会を武蔵野市とハバロフスク市にて開催 太平洋国立大学と環境教育に関する協力協定書締結<br>植林事業が 国土緑化推進機構 の直接事業として認められる。「緑の少年団」(全国組織)交流事業視察を実施 |
| 1998年 | 会報「プリローダ創刊」第1次市民植林団実施（「友好の森」での植林。以後第一期植林は、2007年まで実施）<br>第1回 冒険キャンプ実施（キャンプ生活をしながら川くだりや山登り。以後2006年まで実施） | 2011年 | 東日本大震災に見舞われ、参加者は少数ではあったけれど第二期第3回植林ボランティアツアーを実施<br>環境ポスター展示会を武蔵野市とハバロフスク市にて開催（応募者への感謝状贈呈式を行う）              |
| 1999年 | 第1回 国内冒険キャンプ実施（最上川で行う）  | 2012年 | 第1回 緑の少年団国際交流in ハバロフスクのコーディネートを行う。以後隔年で日本とハバロフスクを訪問継続中。   |
| 2000年 | 「ロシアサロン」開講（ロシア人講師エレナ・カチャイロワ氏）による初級・中級のロシア語講座）   | 2013年 | 第二期第4回（通算14回目）植林ボランティアツアーを実施  |
| 2001年 | 親子自然体験教室（春・秋に丹沢湖世附フィールドで炭焼等アクティビティ。以後2007年まで実施）   | 2014年 | 第二期第5回（通算15回目）植林ボランティアツアーを実施<br>第二期第6回（通算16回目）植林ボランティアツアーを実施（国連フォレストヒーローズに選ばれた島山重篤氏が同行）                   |
| 2002年 | 観桜会（高尾山にて実施）  | 2015年 | ハバロフスク市制156周年行事のご招待をうける。「ロシアサロン」（ロシア語講座）7月をもって終了。自主講座となる。<br>第二期第7回（通算17回目）植林ボランティアツアーを実施（新たにクトゾフカ地区にて実施） |
| 2003年 | アムール河700キロの旅（コムソリスクからニコライスクまでキャンプ生活で川くだり実施、間宮海峡を眺める）  |       | 白露青年交流センターと共催で太平洋国立大学学生の招へい事業を実施  |
| 2004年 | 第7次市民植林団の際にシホテアリニ山脈での タイガ体験実施   |       |   |
| 2005年 | 星空キャンプ実施（長野県川上村の武蔵野市立自然の村で ハバロフスク渡航者の同窓会キャンプ）   |       |   |
| 2006年 | 10周年記念パーティー、記念誌「シベリア大自然」刊行  |       |   |
| 2007年 | 武蔵野市の行政改革により発展的解消を検討  |       |   |
| 2008年 | NPO法人として認証される。（登記完了2009年2月）ハバロフスク市役所国際交流局と新規植林地につ   |       |   |

# 平成27年度 総会資料

2015年5月30日15時30分より、武蔵野市本宿コミュニティーセンターにおいて、平成27年度の定期総会を行い、無事にすべての議案が承認されましたので、ご報告致します。

## 議案第1号

### 平成26年度 事業報告

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業の成果  
本年度は、ひとつひとつの中身が濃い、充実した事業展開を行うことができた。特に植林事業や緑の少年団事業では、日本とロシアで、多くの協力者やスタッフにめぐまれた。また、ハバロフスク市制の周年事業でポーランドや中国の方々を知り合うこともできた。予定していた太平洋国立大学学生招聘事業は、大学の都合により27年度に延期になったが、着々と準備は進んでいる。

2 事業の実施に関する事項  
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費額(千円)
2014植林ボランティアツアー事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行った。	2014.5.4~2014.5.11	ロシア極東ハバロフスク地方	4	延べ150	7701
ハバロフスク市制156周年行事訪問事業	ハバロフスク市役所からの招待を受けに行った。	2014.5.27~2014.6.1	ロシア極東ハバロフスク市内	5	5	361
環境ポスター展示会事業	武蔵野市との共催により環境ポスター展示会を行った。	2014.8.1~5	武蔵野プレイス	10	延べ500	74
委託・緑の少年団国際交流事業	国土緑化推進機構の委託を受けて行った。	2014.8.3~10	国立那須甲子青少年自然の家ほか	10	200	3109
ロシアサロン事業(ロシア語講座)	ロシア人講師を招いて、格安のロシア語講座を開いた。	4月~7月 第2土曜	武蔵野公会堂	2	平均20人/回	153
ブリーダ(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介した。	2014.8.1~2015.1.1		3	会員ほか広く500	57

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費額(千円)
なし					

### 平成26年度 活動計算書

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 (単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費 会費収入	298,000	298,000
2 受取寄附金 受取寄付金	86,000	86,000
3 受取助成金等 植林補助金 ロシアサロン補助金	4,000,000 27,300	4,027,300
4 事業収入 植林事業収入 周年訪問事業収入 緑の少年団事業収入 ロシアサロン事業収入	2,820,362 360,000 3,180,400 108,000	6,468,762
5 その他収益 受取利息	135	135
経常収益計		10,880,197
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費 作業日当	763,896	
(2) その他経費 人件費計 植林費等 苗木管理費 会場費 旅費交通費 宿泊費 食費 通信運搬費 通訳翻訳費 消耗品費 印刷費 交際費 会議費 謝金 手数料 施設利用料 保険料 雑費 公租公課 その他経費計	763,896 3,486,622 64,800 32,400 2,478,648 467,500 722,093 12,577 187,487 289,137 575,972 142,948 0 1,757,392 32,856 242,075 192,853 5,320 1,200 10,691,880	11,455,776
2 管理費		
(1) 人件費 作業日当 人件費計	0	
(2) その他経費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷費 交際費 会議費 手数料 見舞金 その他 その他経費計	88,814 96,818 21,861 7,626 37,476 39,322 51,156 64,800 9,000 416,873	416,873
経常費用計		11,872,649
当期正味財産増減額		-992,452
前期繰越正味財産額		2,830,517
次期繰越正味財産額		1,838,065

## 平成26年度 監査報告書

平成26年度「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」  
収支決算書および事務執行については、平成27年5月27日に監査に付され、帳簿・領収書ならびに関係書類を照合した結果、決算の計数は正確なものであり、また、事務は適正に執行されていることを認めます。

平成27年5月27日

監事 落合 恒 

監事 高橋 善 敬 



議案第3号

議案第4号

役員・顧問の改選について(案)

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会役員のうち、以下のものを該当役員とする。(任期は2年とする)

役職名等	(フリガナ)氏名	住所又は居所	就任期間
1 理事長	アンドウ エミ 安藤 栄美	東京都武蔵野市吉祥寺東町 1丁目15番25号	平成25年7月7日 再任
2 副理事長	キタノ タツヤ 北爪 達也	東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 2273番地30	平成25年7月7日 再任
3 副理事長	タナベ ケイコ 田崎 桂子	東京都小金井市東町 1丁目17番6号	平成25年7月7日 再任
4 副理事長	ヨダ カズナ 依田 和也	東京都府中市美好町1丁目11番地の2	平成25年7月7日 再任
5 理事	タケカワ ショウジ 武川 俊二	神奈川県座間市相模が丘 3丁目53番7号	平成25年7月7日 再任
6 理事	ナグサ ヒロキ 永田 秀樹	東京都武蔵野市境南町5丁目1番20号	平成25年7月7日 再任
7 理事	オナムラ コウジ 長村 康司	東京都武蔵野市吉祥寺南町 5丁目8番16号	平成25年7月7日 再任

1 監事	タカハシ ヨシタカ 高橋 善教	東京都町田市鶴川 2丁目15番地2の105	平成25年7月7日 再任
2 監事	オサエイ フタル 落合 恒	東京都武蔵野市境5丁目2番23号	平成25年7月7日 再任

特定非営利活動法人

むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

平成27年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりとする。

平成27年5月30日現在

	氏名	就任日
顧問	秋山 智英	平成21年4月18日
顧問	土屋 正忠	平成21年4月18日
顧問	稲葉 孝彦	平成21年4月18日
顧問	木村 日出夫	平成21年4月18日
顧問	中野 哲夫	平成21年4月18日
顧問	本江 一郎	平成21年4月18日
顧問	長島 昭	平成23年6月26日
顧問	田村 俊介	平成25年6月20日

平成27年度事業計画(案)

平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで

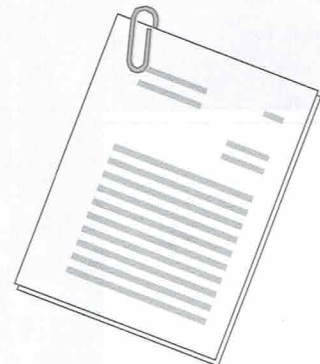
特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

- 事業実施の方針  
植林活動においては、ナナイ地区に加え、より山奥のクトーンゾフカ地区への植林を続け、地球温暖化防止のための寒帯林保全に努めると共に、ハバロフスク市役所と協力して、市内において環境教育の一環として大学生と一緒に植樹活動を行う。更に、国土緑化推進機構の委託を受けて緑の少年団国際交流事業を行い、日露児童青少年の国際交流、自然体験の支援を行う。また、外務省管轄の日露青年交流センターと共催でロシア人学生の招聘事業を実施して、さらに交流の輪を広げていく。
- 事業の実施に関する事項  
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予定額(千円)
2015植林ボランティアツアー事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行う。	2015.5.3~2015.5.10	ロシア極東ハバロフスク地方	2	どなたでも延べ150	5500
共催：太平洋国立大ロシア学生招聘事業	植林でお世話になっている大学生の日本招聘事業を日露青年交流センターと共催で行う。	2015.10.6~2015.10.13	日本大学生物資源科学部ほか	2	ロシア人学生10名・日本人学生10名	100
委託・緑の少年団国際交流事業	国土緑化推進機構の委託を受けて行う。	2015.7.27~8.2	ハバロフスク市郊外	3	70	2160
委託・緑の少年団報告書作成事業	国土緑化推進機構の委託を受けて、報告書編集およびDVDの作成を行う。	2015.8~12		3	150	883
プリローダ(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介する。	年間2回		3	会員ほか広く500	50

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の予定人数	事業費の予定額(千円)



\* すべての議案は承認され（案）の文字は、はずされました。

書式第15号（法第28条関係）

平成27年度 活動計画書予算(案) 議案第5			
平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで			
特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会			
(単位:円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	150,000		
賛助会員受取会費	200,000	350,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	50,000		
施設等受入評価益		50,000	
3 受取助成金等			
植林補助金	3,000,000		
4 事業収益			
植林事業収益	2,500,000		
緑の少年団事業収益	2,160,000		
緑の少年団報告書作成事業収益	900,000	3,000,000	
5 その他収益			
受取利息	100		
雑収入	900	1,000	
経常収益計			8,961,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
作業日当	500,000		
人件費計	500,000		
(2) その他経費			
植林経費	3,000,000		
会場費	30,000		
旅費交通費	1,200,000		
宿泊費	400,000		
食費	700,000		
通信運搬費	21,000		
通訳翻訳費	500,000		
消耗品費	200,000		
印刷費	300,000		
交際費	100,000		
会議費	10,000		
材料費	5,000		
謝金	1,560,000		
手数料	45,000		
施設利用料	50,000		
保険料	60,000		
雑費	10,000		
書籍購入料	0		
公租公課	2,000		
その他経費計	8,193,000		
事業費計		8,693,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
作業日当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会場費	10,000		
旅費交通費	5,000		
通信運搬費	50,000		
消耗品費	40,000		
印刷費	100,000		
交際費	5,000		
会議費	10,000		
手数料	41,000		
雑費	2,000		
書籍購入料	5,000		
公租公課	0		
その他経費計	268,000		
管理費計		268,000	
経常費用計			8,961,000
7 III 経常外収益	0	0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用	0	0	
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			0
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			1,838,065
次期繰越正味財産額			1,838,065

平成26年度 貸借対照表			
平成27年3月31日現在			
特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会			
(単位:円)			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,975,018		
預金（ゆうちょ銀行）	138,600		
預金（東京三菱UFJ銀行）	914,666		
前払植林事業費	2,596,781		
流動資産合計		5,625,065	
資産合計			5,625,065
II 負債の部			
1 流動負債			
前受会費	127,000		
前受植林事業収入	2,160,000		
前受補助金収入	1,500,000		
流動負債合計		3,787,000	
負債合計			3,787,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	2,830,517		
当期正味財産増減額	-992,452		
正味財産合計			1,838,065
負債及び正味財産合計			5,625,065





# 2015植林ボランティアツアーinハバロフスク

報告 安藤 栄美

期 間 2015年5月3日(日)～10日(日)

参加者 青木郁子、池野進、太田美香、川崎千代子、城戸勝弘、佐藤巧、根来美和子、林武志、林光子、四津啓、黎嘉欣、長島昭、本江一郎、小林亮介、安藤栄美

通 訳 オルロフ・ウラジミル

コーディネーター チェルニコワ・エレナ

今年のツアーでは、なんと5/5に雪降る中での植林作業を経験した。積雪中で行うのは、おそらく初めての経験であったと思う。前日に緑とオレンジのTシャツをプレゼントしてくれたアニュイスキー国立公園環境少年団も一緒に作業をしてくれた。このメンバーは夏の緑の少年団の交流にも参加してくれることになった。

5/6の午前中に太平洋国立大学で行われた環境セミナーでは、協会顧問の本江一郎先生より「生物多様性と遺伝子保全に

必要な実生苗生産の基礎となる種子の貯蔵－ブナ種子の貯蔵法の改善を例として－」の講演があり、協会理事長も、ハバロフスクにおけるこれまでの協会の植林活動について発表を行った。午後からは学生にも参加してもらい、ハバロフスク市役所の協力を得て、市内の公園にカラマツの記念植樹も行った。

5/7に宿泊地である野生動物リハビリセンターに到着した時には、現地の村の子どもたちが鼓笛隊演奏で出迎えてくれて、翌日の植林作業にも参加してくれた。





## 委託事業 2015緑の少年団国際交流

2015年7月29日(水)～8月1日(土)において、ハバロフスク郊外のラゾ地区エカテリノスラヴカ村にある児童センター「星座」において2015緑の少年団国際交流が行われた。ロシアでは第3回め、通算5回めの実施である。北海道・山形・群馬・大阪・鳥根・鹿児島緑の少年団から選ばれた17名の小・中学生と指導者3名が、全国緑の少年団連盟の前田直登会長ほか5名のスタッフの引率で7/27に成田空港に集合して結団式を行い、翌日ハバロフスクに出発した。

現地では、植林活動でお世話になっているハバロフスク地方政府森林管理局のスヴィンキン・ユリー副局長が団長となって受け入れて下さった。デニソフ・イワン森林管理局長も多忙な中、記念植樹に参加して下さいました。ロシアメンバーは、ニコラエフスク・ナ・アムーレ市やソビエツカヤ・ガバニ市やナナイ地区トロイツコエ村などの遠方からと地元のペレヤスロフカ町からの17名が集まっていた。

34名の子どもたちは「若き自然の保護者たち」と呼ばれるプログラムで、それぞれの活動報告の発表を行ったり、ステーションゲーム(葉の名前をあてる・害虫を当てる・火の消火を行う・テント張りのタイムレース・木の実などを使ってポスターを作成)と呼ばれるコンクールを日ロ混合チームで行い、友情を育んだ。記念植樹ではインターネットアンケートでハバロフスク地方の樹木1位に選ばれた「キハダ」等の広葉樹を植えることとなった。施設内を流れるキヤ川でカタマランと呼ばれる双胴のイカダに乗ったり、サッカーやバレーボール、綱引きも楽しんだ。

今回は日本からビデオ撮影スタッフとして日比野勲さん(成蹊大学ボランティア支援センター勤務)にも参加していただき、添乗として三浦和真さん(武蔵野市子ども協会勤務)がお手伝いして下さいました。





# やっと実現しました！ 太平洋国立大学学生の招へい

昨年に実施予定で、皆さまから募金を頂いておりましたハバロフスクの太平洋国立大学自然利用・環境学部の学部生および大学院生の招へい事業を無事に終了することができました。これは、日露青年交流センターに提案して共催として企画を立ち上げ、日本大学生物資源科学部森林資源科学科の鍛代邦夫先生

のご協力のもと、実施に至ったものです。

なお、頂いた募金は、ロシア人学生の海外旅行保険代やサポートして下さった学生の経費に利用させていただきました。誠にありがとうございました。

日程：2015年10月6日（火）～13日（火）

参加者：ヴィヴォツェフ・ニコライ教授（66）〈自然利用・環境学部 森林利用技術景観建築学科 学科長〉  
アフメトガリエヴァ・ヴァレンティナ（23）ドリドゲル・エレナ（22）ゼンキナ・オリガ（21）  
ブルドニコヴァ・マリヤナ（24）モルチャノフ・ニキータ（22）サフチェンコ・アンナ（25）  
スタルノヴァ・ナタリア（20）シェルビナ・デニス（23）リャビコフ・ユーリー（22）セメントォヴァ・アナスタシア（21）小林亮介（33）〈自然利用・環境学部 博士課程所定単位取得 インストラクター〉



10月6日（火）ハバロフスク発11：50（S7航空567便）にて、予定より早めの13：05に成田空港到着。チャーターバスにて神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部のキャンパスに向かう。



10月7日（水）日本大学森林資源科学科の鍛代先生ゼミおよび森林レクリエーションの授業に参加。招へいメンバー全員がそれぞれの研究内容等を発表。ニコライ先生にもチョウセンゴヨウの講演を頂く。夕方には、同大学構内にて歓迎会を開催。森林資源科学科の学生達と交流を行った。



10月8日（木）午前中、大学構内の食品加工実習所のソーセージ製造や鍛代先生関連の実験室や研究室を見学。午後には藤沢市内の都市緑化の視察を行う。

10月9日（金）午前中に大学を出発して、下田にある同大学の臨海実験所に向かう。途中で太平洋の海岸林や茅ヶ崎の砂防林を見学。



10月10日（土）6：00より早朝実習にて実習林内の下草刈りを行う。その後玉泉寺に向かい、1854年の安政東海地震の津波で被災したブチャーチン率いるロシアのフリゲート艦ディアナ号の乗組員3名のお墓参りをして、献酒・献花・国歌斉唱を行う。その後、生物試料採集船に乗せて頂き、下田の街を海から眺める。午後は、海岸にて日大生と共に自炊でバーベキューを行い、下田の日露協会の方からの差し入れのイセエビなどを頂く。



10月11日（日）チャーターバスにて、下田から戸田に向かう。下田街道を通り、東京営林局の杉林を車窓見学して、浄蓮の滝で休憩してワサビ田を視察。戸田造船郷土資料館でダイアナ号関係の資料等を見学。三島から新幹線に乗りして東京に向かう。日本の鉄道の時刻の正確さを体感する。



10月12日（月・祝）学生達は、東京外国語大学ロシア語学科の学生と都内散策を楽しむ。午前中、武蔵野市長時代にハバロフスク工科大学（現・太平洋国立大学）に環境に関する寄付講座を開設した土屋正忠総務副大臣の事務所を訪問。国会議事堂内の見学をさせて頂く。その後、お台場にある日本科学未来館を見学。ダイバシティ・パレットタウンで買い物を楽しみ、日の出桟橋より水上バスに乗船して、隅田川下りで浅草に向かう。夕食後に、急きよ渋谷も訪れて、ハチ公の銅像や渋谷のスクランブル交差点で記念写真を撮り、満足をホテルに戻った。

10月13日（火）14：25成田空港発S7航空568便で帰国。ハバロフスク18：20着。



## ホーミー（喉歌）・馬頭琴コンサート 「アルタイの山々に捧ぐ祈り」を開催

2015年5月30日（土）14時～15時まで、当協会の定期総会に先立って、梅本秀徳氏によるコンサートを開催しました。さすがモンゴルホーミー協会認定のプロフェッショナルホーミー歌手であり馬頭琴奏者の同氏の演奏は大変素晴らしく、とても聴きごたえがあったと評判でした。



### プリローダ 第60・61合併号

発行日	平成27年12月1日
発行	NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会
住所	東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25
TEL/FAX	0422-23-5351
E-mail	mail@mtxa.org
URL	http://mtxa.org/
発行人	安藤 栄美
編集	田崎 桂子
広報委員	依田和也、北爪達也、永田秀樹、木崎 剛、落合 恒、 内田 央、内田 周
印刷	巧芸印刷(株)

### 編集後記

今回は、プリローダ60号・61号の合併号とさせていただきます。10月に太平洋国立大学の学生招へい事業が実現したことにより、春の植林ボランティアツアーや夏の緑の少年団国際交流に続き秋にも事業が入り、やっと一息つき、皆さまにご報告することができました。

来年は協会設立20周年を迎えます。NPO法人となつてからは、8年目ですが、今後とも、よろしくご支援のほどをお願い致します。